

「幻の香料」龍涎香の資料室を公開 報道用写真16点を無償提供

900年を超える歴史、真贋と生成過程の確認先、記事企画の切り口16本を整理。
写真は事前連絡なしでご使用いただけます。

龍涎香（りゅうぜんこう／アンバーgris）は、マッコウクジラの腸内に由来し、海を長く漂う間に熟成する天然香料です。英国王の戴冠式や琉球国王から将軍への献上に使われた記録が残る一方、真贋から歴史、生成過程、価値まで、根拠の異なる情報が行き交っています。

有限会社アンバーgrisジャパン（愛知県名古屋市中区、代表：吉田恭隆）は2026年8月18日、何が確認でき、何がまだ分からないのかを、原典・研究・報道までたどれる形でまとめた報道・執筆者向け資料室を公開しました。

今回のポイント

- 報道用写真16点を無償提供。実物、鑑定、製造工程、人物。事前連絡なしで使用できます。
- 記事企画の切り口16本を「ネタ帳」として公開。1分で読める概要と、15分で記事を組み立てるクイックスタートつき。
- 「確認できること」「研究上の見解」「まだ分からないこと」を分けて整理。歴史・科学の記述は、すべて確認先までたどれます。

数字で見る今回の資料



2023年に沖縄で確認された268gの龍涎香（当社鑑定）／提供：アンバーgrisジャパン

国内の発見記録	2026年時点で9件
沖縄で確認された実物	268g（当社鑑定）
同・取引額	442万円 当社が把握する範囲で国内最高値
報道用写真	16点（無償提供）
記事企画の切り口	16本

写真のご利用条件

事前連絡なしで使用できます。クレジット「提供：アンバーgrisジャパン」を明記のうえ、掲載・放送後に press@agj.co.jp へご報告ください。

資料室・写真のダウンロード

報道・執筆者向け資料室 <https://agj.co.jp/press/>

報道用写真・PDF <https://agj.co.jp/press-photos/>

有限会社アンバーgrisジャパン

代表コメント

「龍涎香には、いまでも真偽さまざまな伝聞が混ざっています。だからこそ、ちゃんとした情報を伝えて、世界の恵みである龍涎香を、みんなで受け取っていきたい。知ることで、龍涎香を見つける人が増えるように。海にたどり着く宝物が、気づかれないまま失われず、みんなで大切にされていくように——そう願って、この資料室を作りました。」

有限会社アンバーgrisジャパン 代表 吉田恭隆（よしだ・やすたか）



100年以上と推定される白色の龍涎香
／提供：アンバーgrisジャパン

自然漂着品のみを扱い、国内の無料鑑定を受け付けています

当社は、海岸に自然漂着した龍涎香のみを扱い、捕鯨由来のものは扱いません。国内で発見された可能性のあるものは、写真による無料鑑定を受け付けています。

龍涎香の無料鑑定 <https://agj.co.jp/kantei/>

取材・撮影でご提供できるもの

- ・ 2023年に沖縄で確認された268gの龍涎香を含む実物標本と、熟成段階の比較
- ・ 龍涎香の鑑定、漬け込み、香りづくりの工程
- ・ 代表・吉田恭隆へのコメント取材、追加写真・動画

天然香水版のファクトシートも公開

天然香水の一般的な説明と、リベレーションブランド バリバリー独自の取り組みを分けて整理。素材を扱う温度帯「5～38度」、契約農家6軒、滋賀県でのハスと農福連携を、記事構成例とともに掲載。

記事作成用ファクトシート <https://bariberry.jp/for-writers/>

※ バリバリーの製品には精油なども配合しており、完成品の全成分が非加熱という意味ではありません。

※ 「龍涎香 普及パートナー」（個人ライター・配信者向け、参加費・掲載義務なし）の案内も開始。報道機関・編集者には、登録の有無にかかわらず同じ資料・取材窓口を提供します。

会社概要

社名	有限会社アンバーgrisジャパン
設立／代表者	2019年／吉田恭隆（よしだ・やすたか）
所在地	〒458-0804 愛知県名古屋市緑区亀が洞1-701 ノーブルメゾン徳重402
事業内容	龍涎香の鑑定、買取・調達、研究開発、製品化、普及活動
URL	https://agj.co.jp/

本件に関するお問い合わせ・取材のお申し込み

担当	有限会社アンバーgrisジャパン 吉田恭隆
メール	press@agj.co.jp
資料室	https://agj.co.jp/press/